

わが社の経営理念 VOL.183

坂本 規文 (北播支部)

サカモトメタル株式会社

リサイクルを通じ社会に貢献

- ・私たちはリサイクル業界の地位向上に貢献します。
- ・私たちは共に学び、共に成長し、お互いの幸せを追求します。
- ・私たちはリサイクルを通じて、地域の環境を守ります。

社名：サカモトメタル株式会社
住所：多可郡多可町加美区多田90-1
役職：代表取締役
氏名：坂本 規文
所属：北播支部
同友会入会：2018年8月

■事業内容及び企業の沿革

事業内容 非鉄金属（電線）リサイクル・原料販売
沿革

1988年に父親が大阪から多可町に移住し開業。被覆電線解体の剥離作業から始まりました。2002年有限会社サカモトに組織変更。倉庫や作業場を増設後、新設し2009年に代表取締役就任。サカモトメタル株式会社に組織変更をしました。

■経営理念を作ったきっかけ

「リサイクルを通じ社会に貢献」これは、元々先代の頃から看板に掲げていた言葉です。経営指針成文化セミナーに参加し、何の先入観もなく理念を考える際に、この言葉はそのまま使おうと思いました。目的理念、行動理念、福祉理念に落とし込む中で、社員さんに向けて、業界に向けて、地域に向けての想いを成文化したとき、それらが全て社会に貢献することにつながるのだと自分の中で腑に落ちました。

■経営指針、経営理念を策定してからの変化

経営理念の浸透に向け、毎朝朝礼で唱和するようになりました。指針書を作つてからは、自主的に学び成長できる機会を極力作るようにしています。年度の初めには指針書の勉強会を行い、以降毎月も社内勉強会を開催しています。また、勉強会で学んだことや自分の現状・これからなどをレポートにして提出義務を設けています。指針書には各自の目標も載せるため、人が見るための文章を書く訓練として、まずは量を書くことを評価しています。提出期限も自分で決めてもらい、自分でスケジューリングを行い、自分で意思決定をしてもらいます。繰り返し行っていくうちにだんだん社員さんも慣れてきたように感じます。強制的にでも自分で考えざるを得ない状況をつくり、共に成長していくたらと思います。

■経営理念への想い

創業者の父親が看板に掲げていた言葉ですが、本人に聞いていないのでどう思いこの文面を考えたのかまでは理解していません。ただ成文化セミナーで理念を考えたとき、これ以上の言葉が見つかりませんでした。すごくシンプルだけど、ずっと追いかけて変わらず、追い続けて事業を続けていくためにふさわしい文面だと感じました。

2番目に挙げている理念「共に学び、共に成長し、共に創造します。」を昨年「共に学び、共に成長し、お互いの幸せを追求します。」に変更しました。何か足りないように感じていたのですが、やはり自分が幸せになるためには、お互いの幸せを追求することではじめて自分に返ってくる。そのため共に学び、共に成長するということでやっとしっくり来たなど。作ってみて1年経つて気づき変えた形です。そして次はその理念を1番上に入れ替えようと思っています。自分たちが学び成長しあるいの幸せを追求するという方に重点をおくことで、業界に対しても地域に対しても貢献することができ、強いては社会に貢献することができるという繋がりにしたいと考えます。

■これからの夢・抱負

電線のリサイクルにおける技術をさらに伸ばしていく、自社の技術を海外に展開したいです。社員にベトナム人の子が入り、そういった関わりができてきたので、彼らが国に帰るときには一緒にその技術を持ち帰ってもらえるような環境ができたら嬉しいです。何よりも社員の成長が1番で、彼らが共に、リサイクルを通じ社会に貢献できるよう邁進していきます。

